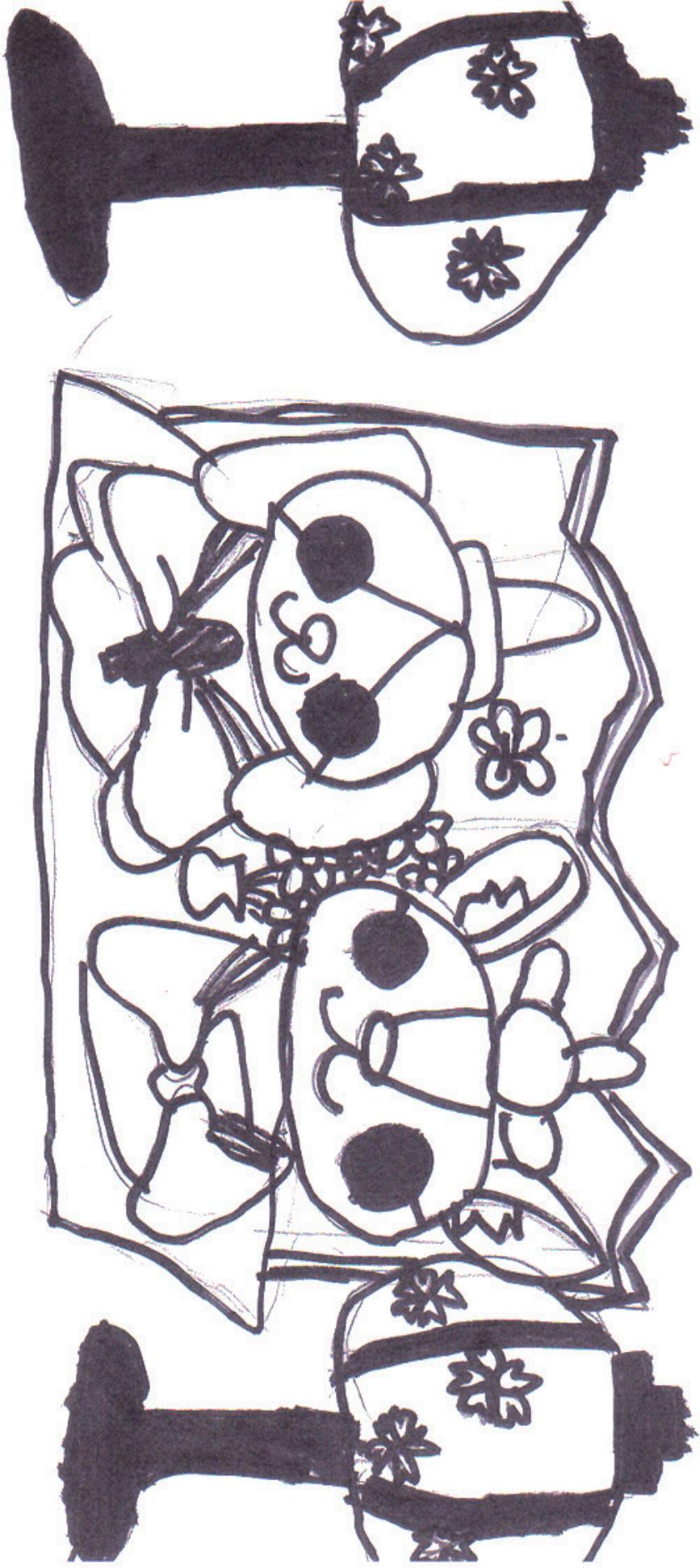
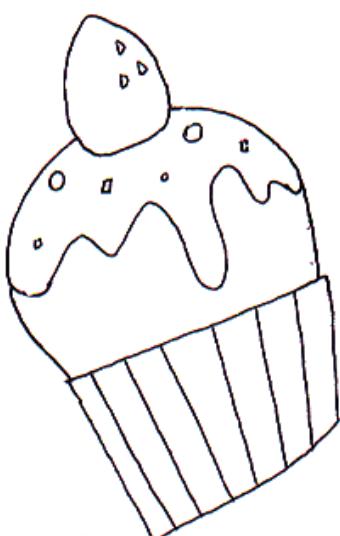


日本美術通信3月号 Vol.1. / 28



# March

今月号のとよたち 美肌通信の  
表紙は、3月3日のひな祭りに  
かざる かわいらしい みひなさまです ♡  
手芸やお料理をする事が好きで、  
ねこの人形が 宝物だ。  
女の子が描いてくれました！  
ありがとうございます。



院長はじめ  
スタッフ一同  
、ハエリ 感謝いたします。

公園の花木も芽や蕾を膨らまし始め、目を轉むれば”日光の山々では雪解けを迎え、あちらこちらで春の便りが届く頃になりました。

また、今月中旬ともなれば”受験シーズンも一段落する”でしょうか、その結果は人それぞれかと思ひます。

ある人は努力が実を結び歓天喜地し、一方では遺憾千万な人もあるかと思ひます。いずれにしても私が思うに学歴というのはその人の結果ではなく食くまで途中経過に過ぎません。確かに一部分では時とて学歴が物を言う事があるでしょう。しかし“この”の学校を卒業したというのは、それだけ勉強はしたのですね、学問とては出来が良かったのですねという評価には成り得る。しかしながら、学歴に対する劣等感を持つ必要はない。何故ならそこからは何も生産されないからである。それと同じく優越感からも何も生まれない。

これらよりはるかに大切な事は、自分が何をやりたのか、どう成りたいのか、自分の目標が何なのか、この事に力点を置く事の方がはるかに重要である。

学歴はその手段に過ぎないと考える。

私達は大小様々な挫折を人生の中で味わう。そんな時 突極には自分がこの世に存在している意味を考えてみると良い。

自分が何故生まれてきたのか。出世や起業する事、又は偏差値の高い大学に入る事は現実的な手段である。

しかしこの世に生まれてきた理由とは、ゴーキヤンの言う「我々はどこから来て、どこに行こうとしているのか?」と同じ意味であると思う。

全ての人それぞれに生まれてきた役割があるはずである。一時の不幸を嘆くのではなく、もっと大きくこの世(社会)における自分の役割とは何なのかを問ひ続け、前進し人生を切り開いて行きたいものである。

院長、挙